

SHEFMO

キッチン開戸収納 [シェフモ]

施工説明書

必ずお読みください



施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。
間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。
本書にそわず施工を行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意



内装専用の製品です。屋外での使用はできません。



施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。



屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。



粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を化粧面に貼らないでください。



溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

目次

製品図面・パーツセット明細	1~3
施工前の確認事項	4
下地固定 躯体準備	5
下地固定 施工手順	5~6
間柱固定 躯体準備	7
間柱固定 施工手順	7~8
下地固定・間柱固定	
共通施工手順	9~19
設置位置イメージ	20~22

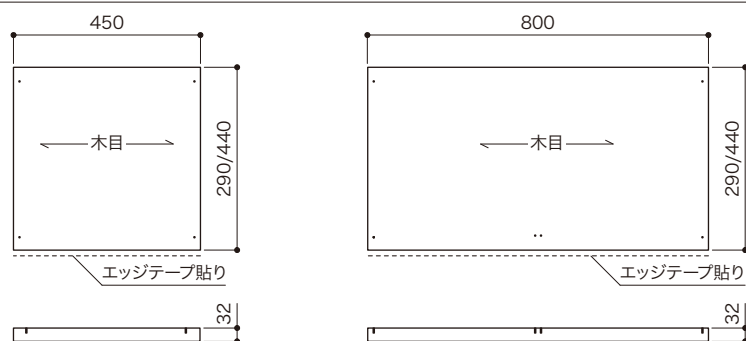
施工方法には下地固定と間柱固定があります。
下地の状態をご確認の上、施工を行なってください。

製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

ベーシックパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

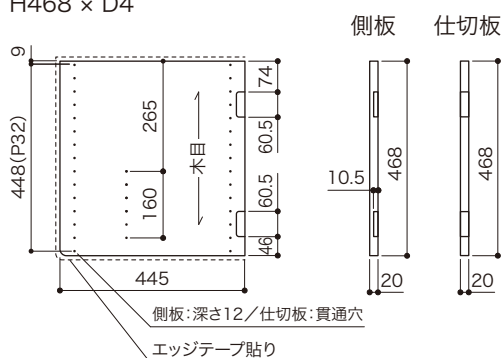
フィラー天板



部 品	樹脂金具	バインドビスL=16
		
	4個	8本

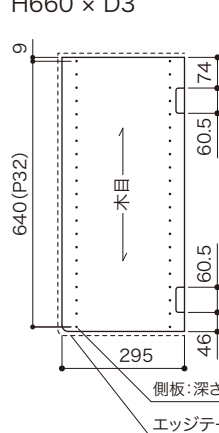
側板・仕切板 ※側板は、左右各1枚・計2枚入です。

H468 x D4



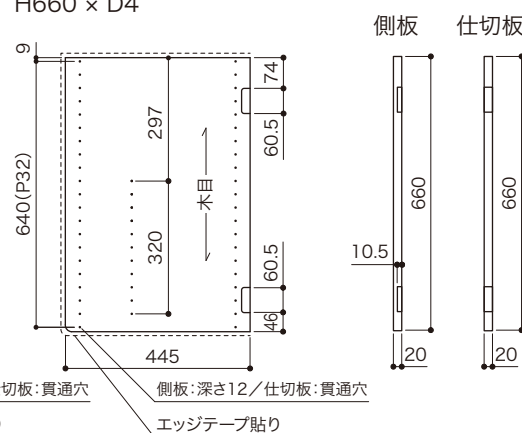
図面は左用。右用はこの対称形。

H660 × D3

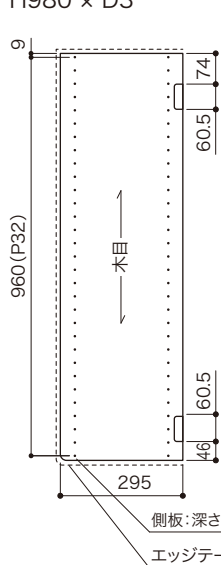


図面は左用。右用はこの対称形。

H660 × D4

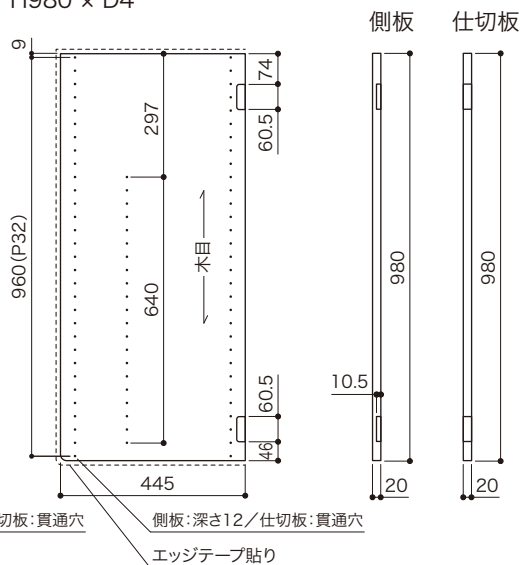


H980 x D3



図面は左用。右用はこの対称形。

H980 × D4



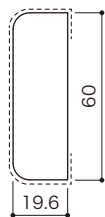
部 品	パーツ	Ｌ字ブラケット	Ｌ字カバー	システムビスL=13.5	サラビスL=51	ビスキャップセット	バインドビスL=16	施工・取扱説明書
						 ビスキャップ ワッシャー		
	側板	4個	4個	4本	16本	8セット	8本	各1式
	仕切板	4個	4個	4本	8本	—	4本	—

製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

ベーシックパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

背壁栈木 ※上下各1本・計2本入です。



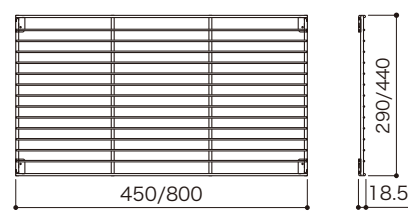
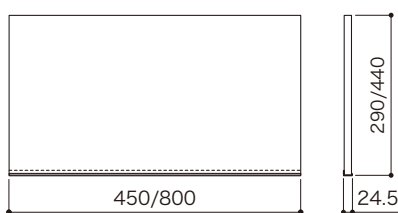
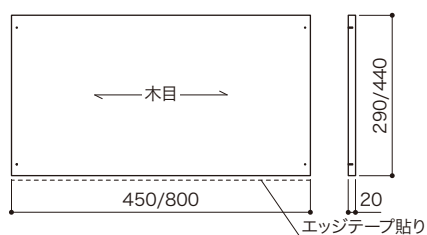
部品	サイズ	サラビスL=65	ビスキャップセット
	L950	6本	4セット
	L1430	8本	6セット
	L1950	10本	8セット
	L2950	14本	12セット

プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

棚板(可動・固定兼用)

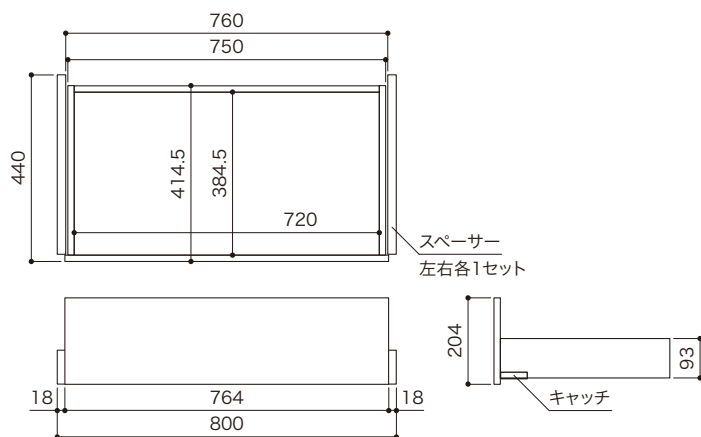
耐熱・耐汚棚(可動・固定兼用)

網棚(可動・固定兼用)

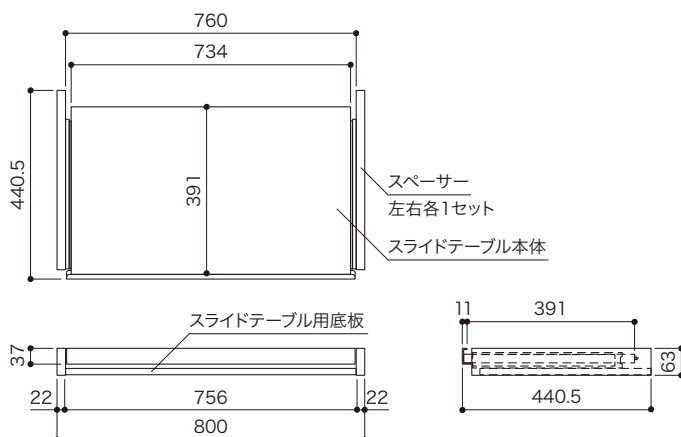


部品	パーツ	樹脂金具	バインドビスL=16	バインドネジL=10	可動棚受(前)	可動棚受(後)
	棚板	4個	8本	—	左右各1個	2個
	耐熱・耐汚棚	4個	8本	—	左右各1個	2個
	網棚	4個	4本	4本	左右各1個	2個

キッチン収納用引出し



スライドテーブル



部品	システムビスL=13.5	サラビスL=30
	4本	8本

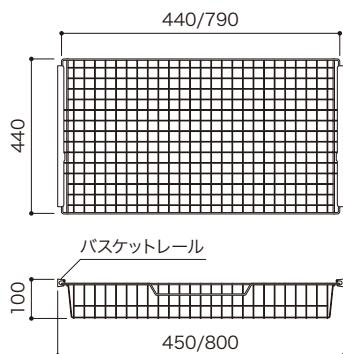
部品	スライドレール	ジョイント金具シャフト	ビスL=30	位置だしピン	L型カバー	サラビスL=16
	左右各1セット	4本	10本	4本	1本	4本

製品図面・パーツセット明細

寸法単位:mm

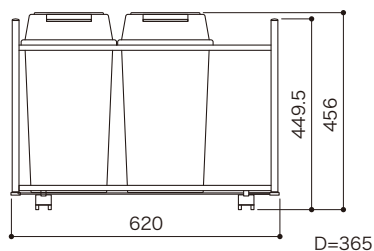
プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

バスケット

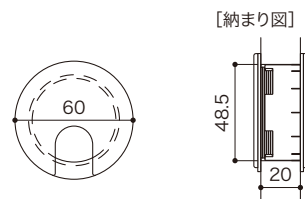


部品	バスケットレール	サラビスL=13
	左右各1本	4本

ダストワゴンセット

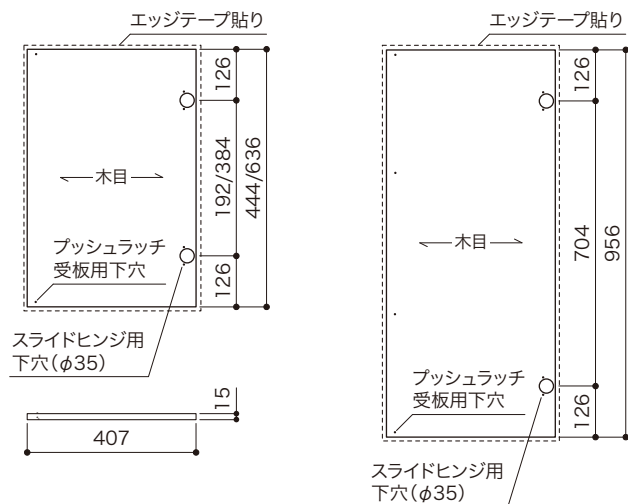


配線孔キャップ



※φ48.5の下穴に対応しています。

開戸 ※左右各1枚・計2枚入です。

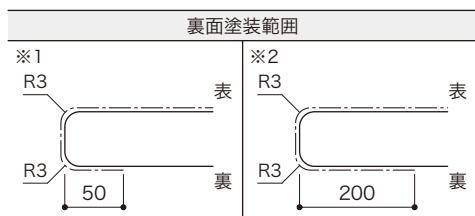


部品	スライドヒンジ	座金	ヒンジ用ビスL=13.5	サラビスL=14	トラスビスL=16	薄型面付アタッチメント	プッシュラッチ	プッシュラッチ受板	サラビスL=12
	4個	4個	16本	4本	4本	2個	2個	2個	2本

耐水カウンター



部品	サラビスL=45	ビスキャップセット
	10本	10セット



L字ブラケットセット

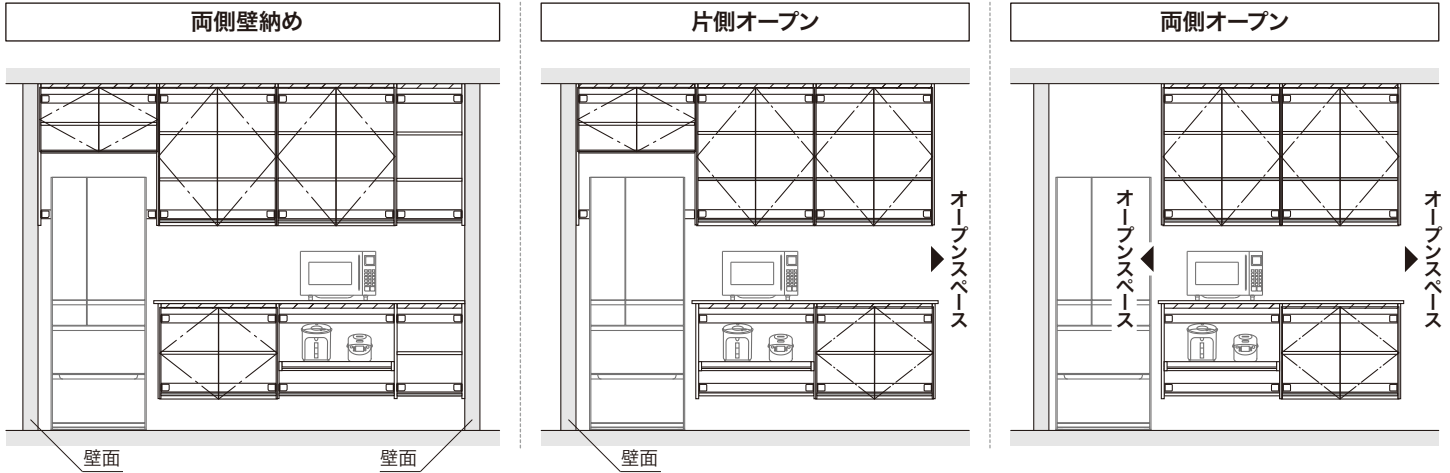
部品	L字ブラケット	L字カバー	サラビスL=16
	4個	4個	12本

施工前の確認事項

寸法単位:mm

【設置条件について】

設置方法には **両側壁納め**・**片側オープン**・**両側オープン** の3パターンがあります。
プランによって、施工方法・条件が異なりますので、施工前に必ず、以下の説明をお読みください。



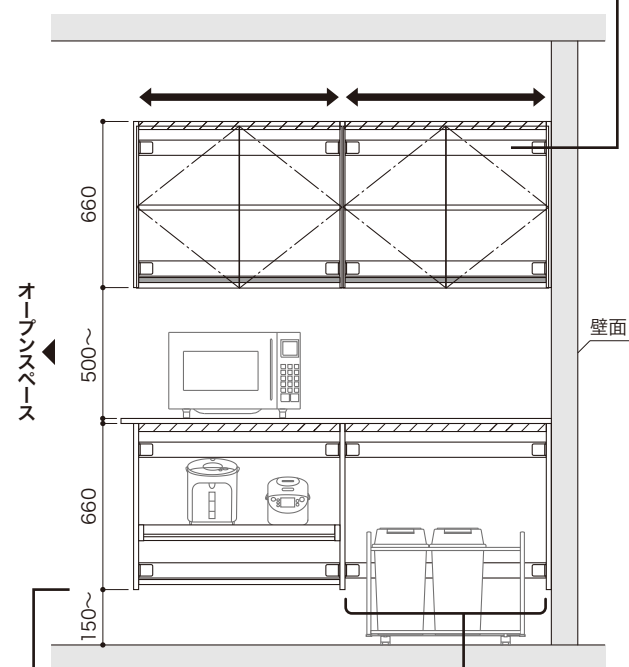
部材設置イメージ図

使用の上で支障のない高さに設置してください。

上部収納と下部収納は500mm以上離して設置してください。

背壁桟木の設置位置について

背壁桟木は側板から側板の間に納めてください。

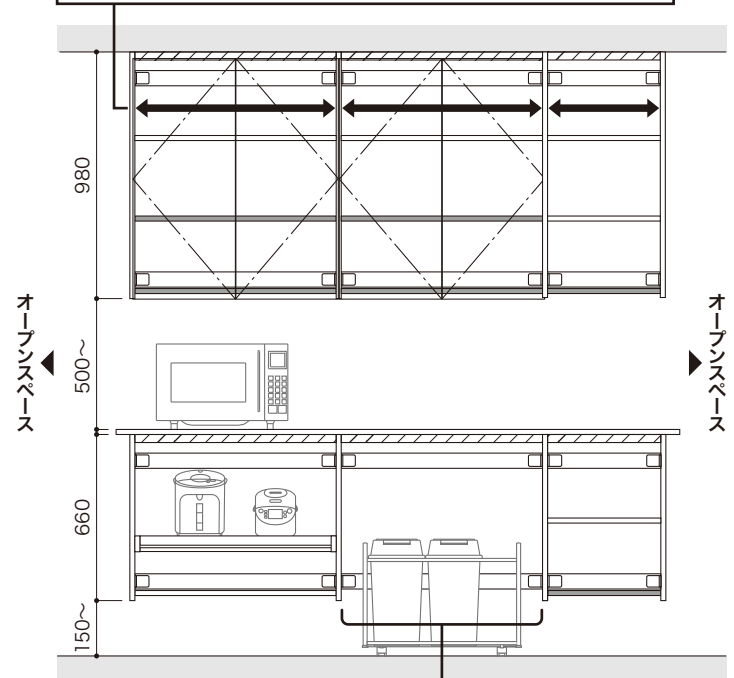


床から150mm以上離して設置してください。

各棚板(固定)設置の際、樹脂金具の固定に150mm以上の間隔が必要です。

間口カットについて

網棚、バスケット、キッチン収納用引出し、スライドテーブル、開戸を設置する列は間口カットができません。



A

壁面と各棚板(固定)列の間の列は、各棚板(可動)のみ、もしくはフリースペースとしての構成が可能です。

B

両隣りに各棚板(固定)がある列は、各棚板(可動)のみ、もしくはフリースペースとしての構成が可能です。

各棚板を設置する場合

すべての列に各棚板(固定)もしくはスライドテーブルを1箇所以上設置してください。

ただし、条件 **A**、**B** の場合は、各棚板(可動)のみ、もしくはフリースペースとしての構成が可能です。

各棚板について

各棚板 棚板/耐熱・耐汚棚/網棚の3種類があります。

施工方法には、 下地固定と間柱固定があります。



下地固定：5ページ～



間柱固定：7ページへ

躯体準備 下地固定

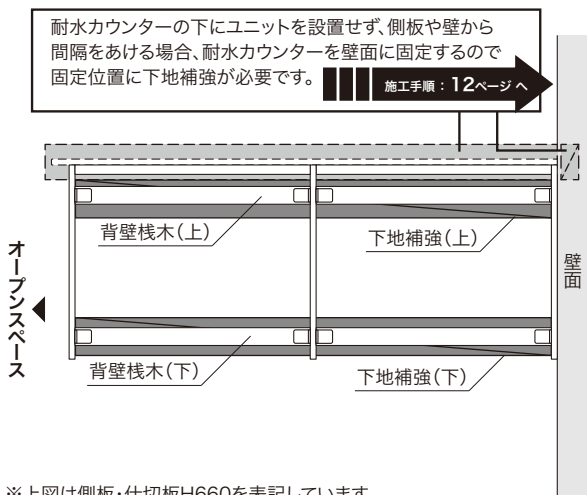
寸法単位：mm

- 施工前に躯体の垂直・直角を確認してください。
- 躯体や側板・仕切板と背壁桟木の垂直・直角がとれていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。
- あらかじめ背壁桟木を取り付ける部分に補強桟木や12mm厚以上の合板（現場調達）で下地補強をしてください。（設置位置は下図参照）
- 背壁桟木の取り付けピッチを考慮して下地補強位置を決定してください。 ：下地補強位置

背壁桟木取り付けピッチ：側板H468:288mm / 側板H660:480mm / 側板H980:800mm

※上下の下地補強が水平・平行に取り付いていることをご確認ください。

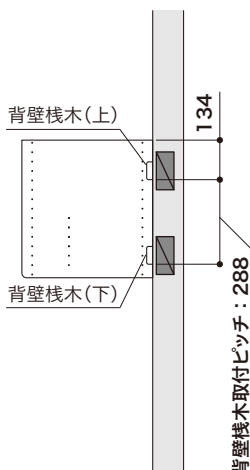
〔正面図〕



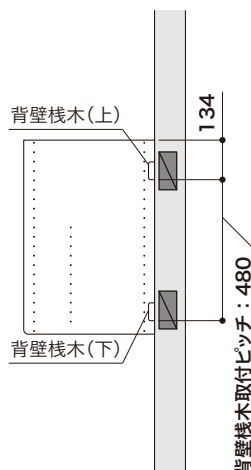
※上図は側板・仕切板H660を表記しています。

〔断面図〕

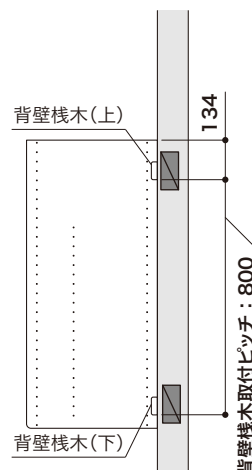
■ 側板H468



■ 側板H660



■ 側板H980



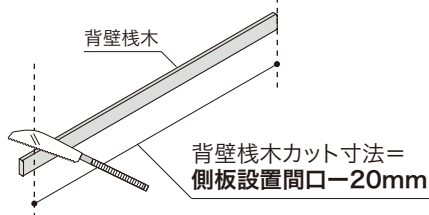
施工手順 下地固定

寸法単位：mm

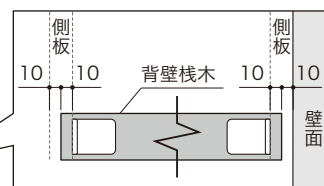
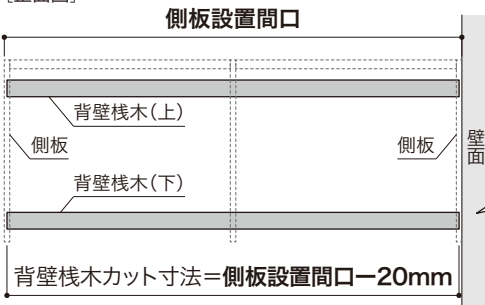
1 背壁桟木の取り付け

1 背壁桟木のカット

設置プランを確認後、背壁桟木をカットします。
（背壁桟木カット寸法：下図参照）



〔正面図〕

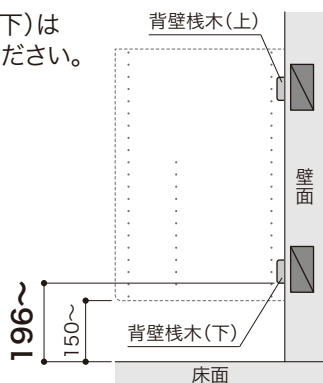


2 取り付け位置の墨出し

右図を参考に背壁桟木の取り付け位置を墨出しします。

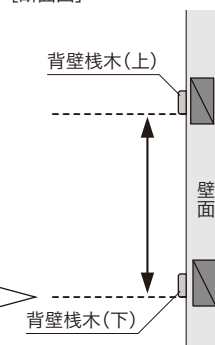
注意

下部収納の場合、背壁桟木(下)は床から196mm以上離してください。



床面と背壁桟木が水平になることをご確認ください。

〔断面図〕

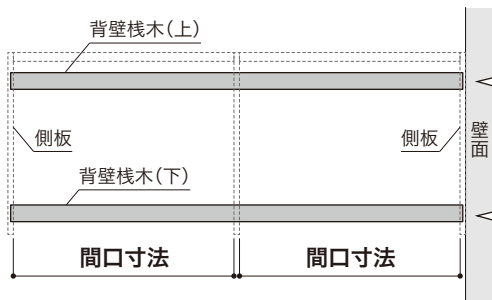


背壁桟木(下)下面から
背壁桟木(上)下面の間隔が
側板H468：288mm
側板H660：480mm
側板H980：800mm
空くように墨出ししてください。

3 下穴加工

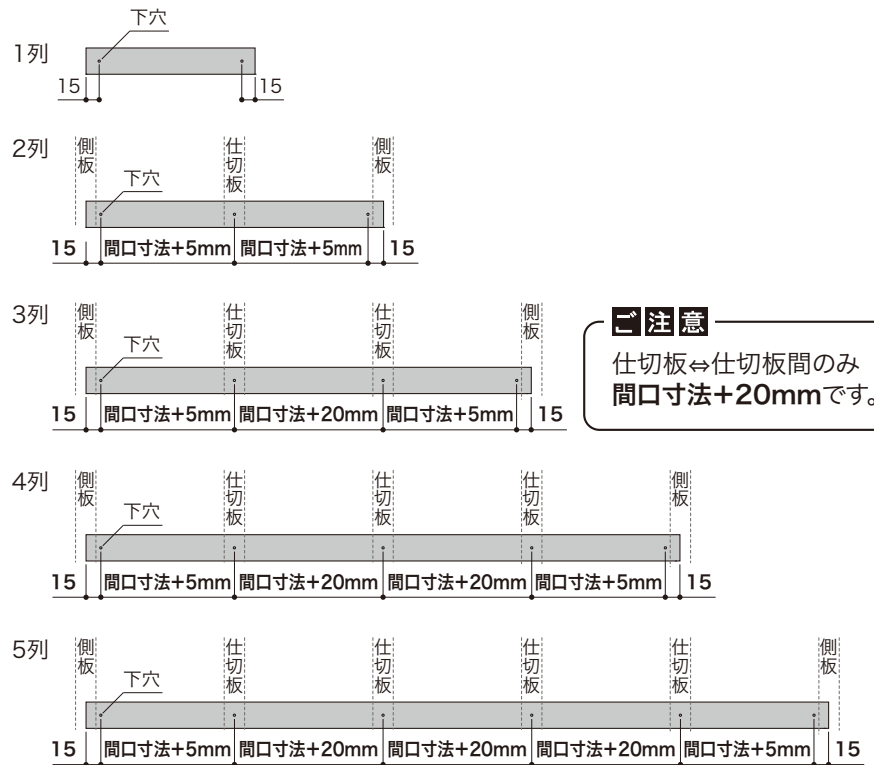
ビス頭が飛び出ないようにビスL=65を打つ位置に4mmのキリで下穴を開けます。
(下穴加工位置:下図参照)

[正面図]



※上図は「2列」の場合を表記しています。

背壁桟木(上)、(下) 下穴加工位置



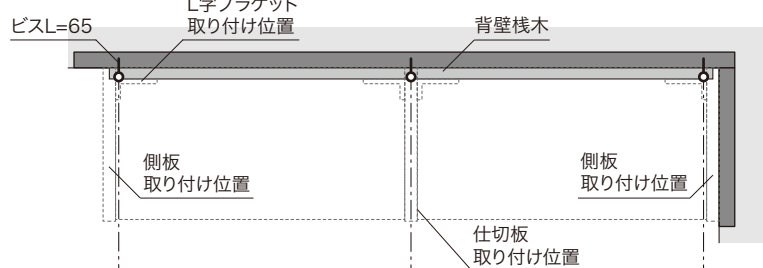
注意

仕切板⇔仕切板間のみ
間口寸法+20mmです。

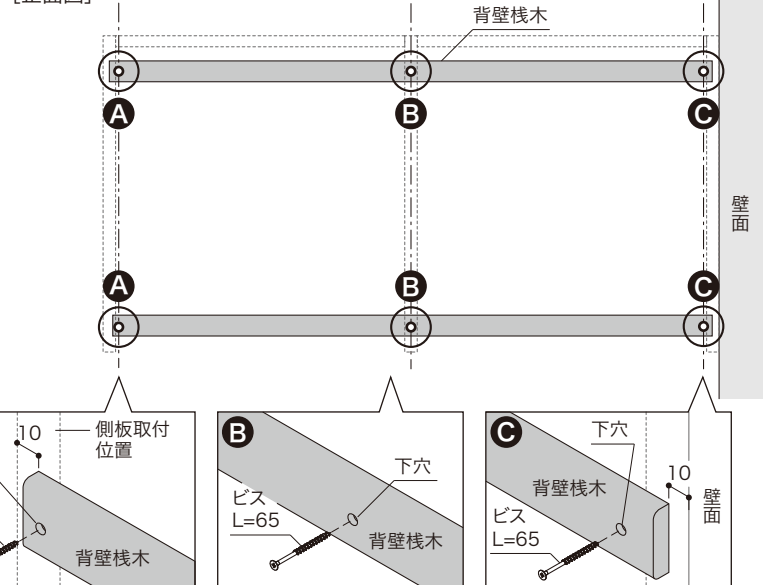
4 背壁桟木の取り付け

下穴に向かってビスL=65で背壁桟木を壁に固定します。
その際、ビス頭が飛び出さないようにしてください。

[上面図]



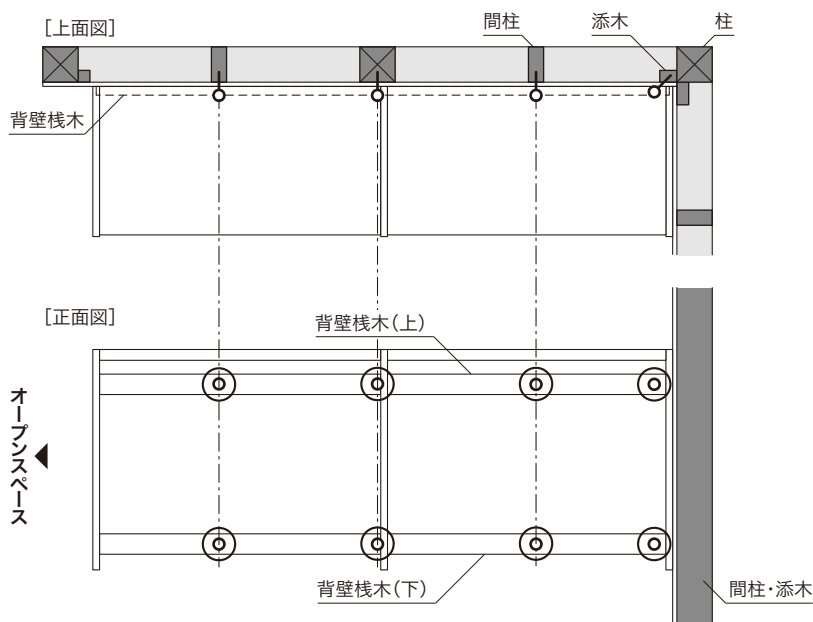
[正面図]



躯体準備 間柱固定

寸法単位:mm

- 施工前に躯体の垂直・直角、柱・間柱・添木の位置を確認してください。
○:ビス固定位置
- 躯体や側板・仕切板と背壁栈木の垂直・直角がとれていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。



※上図は側板・仕切板H660を表記しています。

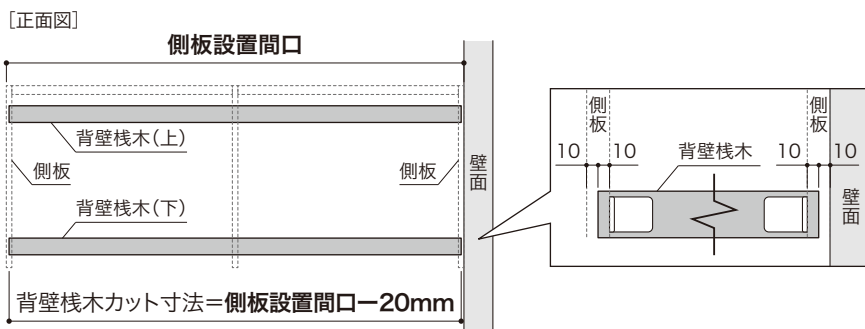
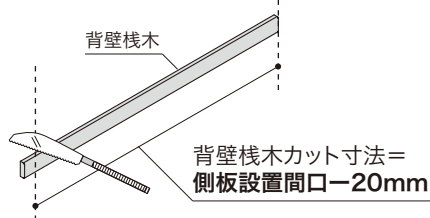
施工手順 間柱固定

寸法単位:mm

1 背壁栈木の取り付け

1 背壁栈木のカット

設置プランを確認後、背壁栈木をカットします。
(背壁栈木カット寸法:下図参照)

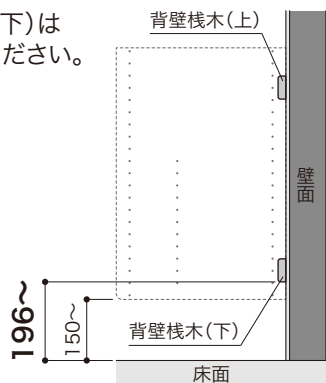


2 取り付け位置の墨出し

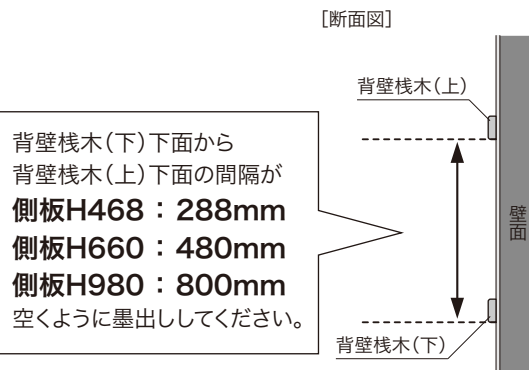
右図を参考に背壁栈木の取り付け位置を墨出しします。

ご注意

下部収納の場合、背壁栈木(下)は床から196mm以上離してください。

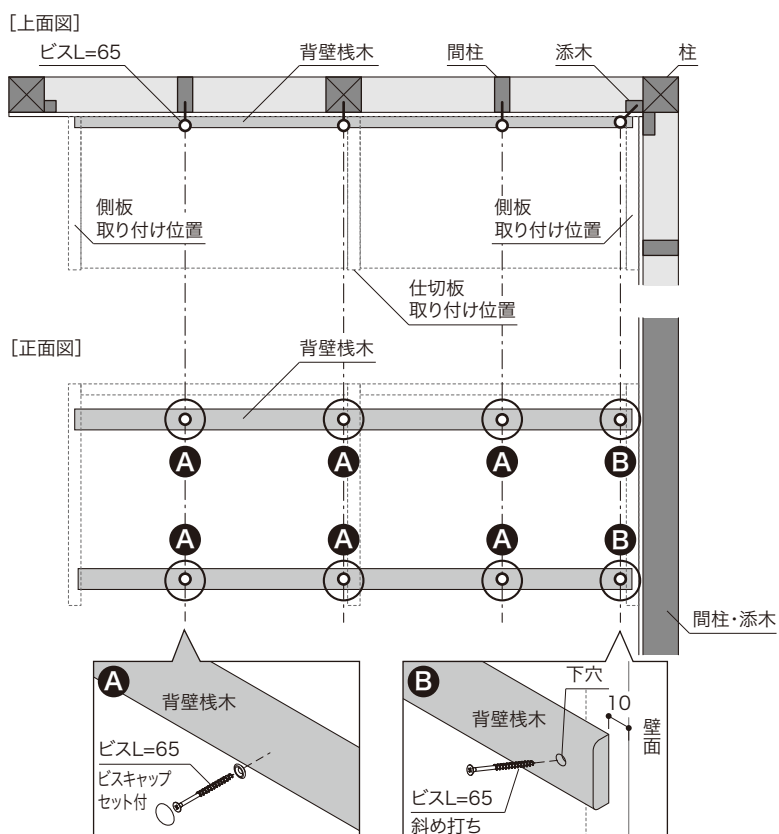


床面と背壁栈木が水平になることをご確認ください。



3 背壁桟木の取り付け

柱・間柱・添木に向かってビスL=65で背壁桟木を壁に固定します。
 添木へビス打ちする際は、下穴加工を行ない、ビス頭が飛び出さないようにしてください。



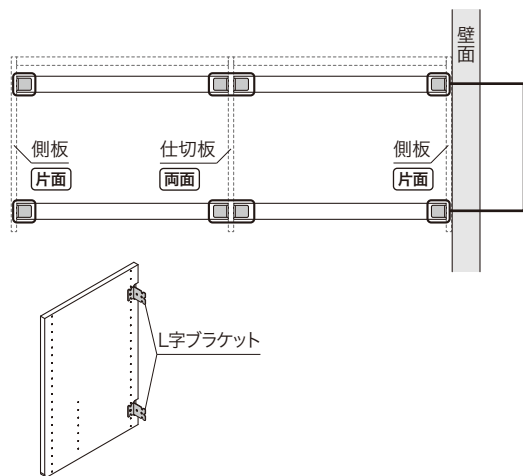
背壁桟木の取り付けが完了したら 9ページ 2 側板・仕切板へL字ブラケットの取り付け

2 側板・仕切板へL字ブラケットの取り付け

L字ブラケットの取り付け方向にご注意ください。

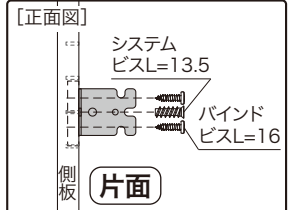
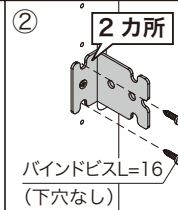
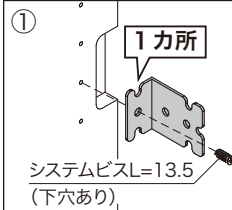
側板は片面に、仕切板は両面にL字ブラケットを取り付けてください。

※図は側板・仕切板 H660 を表記しています。

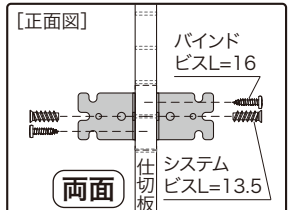
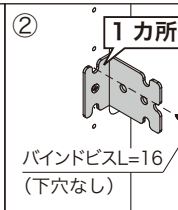
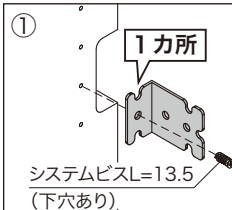


側板と仕切板でビス固定箇所が異なります。

側板 **片面**



仕切板 **両面**

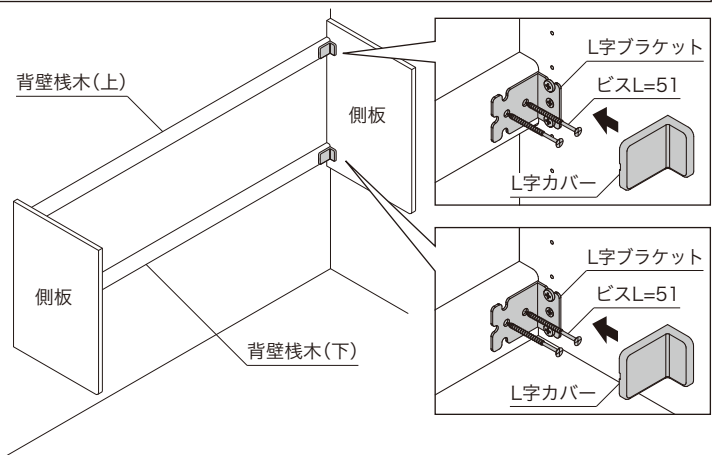


※バインドビスL=16は交互になるよう固定

3 側板の取り付け

側板と背壁桟木が垂直になることをご確認ください。

背壁桟木(上)・(下)に側板の切り欠きを引っ掛け、L字ブラケットをビスL=51で固定しL字カバーを取り付けます。



4 仕切板の取り付け

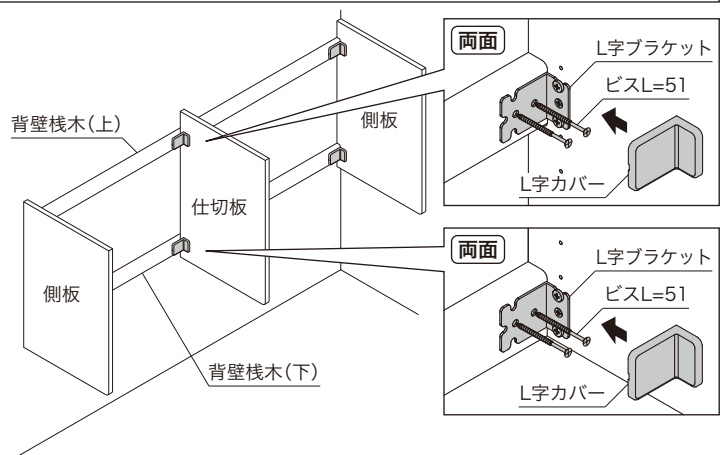
仕切板と背壁桟木が垂直になることをご確認ください。

1 取り付け位置の墨出し

設置予定部材の寸法を測り、仕切板の固定位置を墨出しします。

2 背壁桟木へ仕切板を取り付け

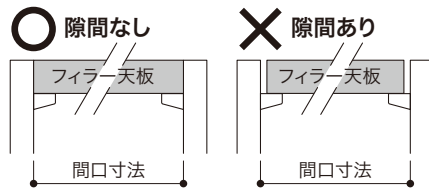
背壁桟木(上)・(下)に仕切板の切り欠きを引っ掛け、L字ブラケットをビスL=51で固定しL字カバーを取り付けます。仕切板は**両面**固定してください。



5 フィラー天板の取り付け

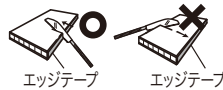
カットする場合

間口寸法と同寸法にフィラー天板をカットします。



ご注意

必ずエッジテープ側からカットしてください。
反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。



樹脂金具について

樹脂金具は施工後に、側板・仕切板の微調整ができるよう、片方の穴が楕円になっています。側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。

樹脂金具 **正円** ➡ ダボ穴／側板・仕切板

樹脂金具 **楕円** ➡ 下穴／フィラー天板

ご注意

バインドビスの締め過ぎにご注意ください。
ビスが空回りすると、保持力がなくなり全体の強度を保てなくなる可能性があります。

天井付けの場合

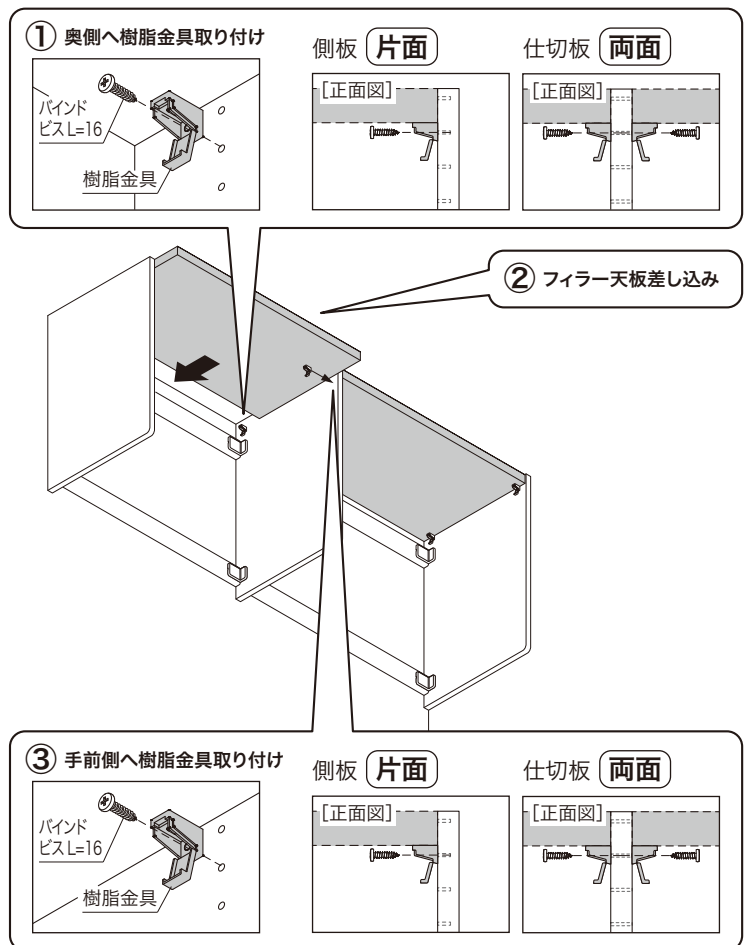
1 樹脂金具の取り付け、フィラー天板の差し込み

側板・仕切板の奥側、上から2番目のダボ穴へ樹脂金具をバインドビスL=16で固定してください。(右図①)

フィラー天板を奥まで差し込み(右図②)、側板・仕切板の手前側のダボ穴へ樹脂金具をバインドビスL=16で固定してください。(右図③)

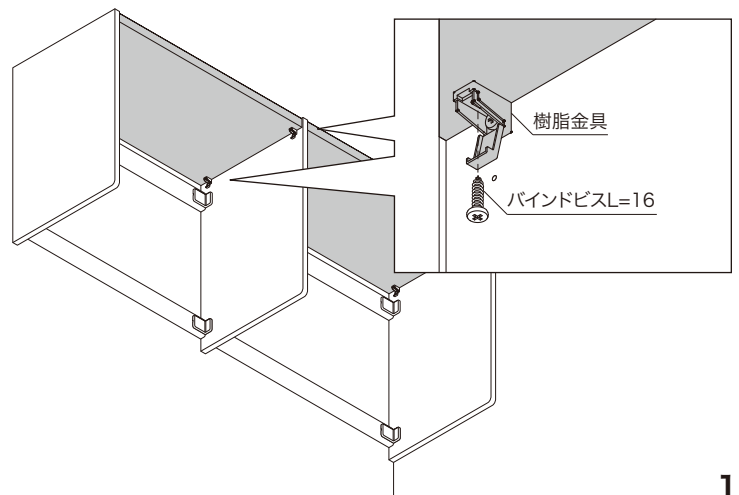
ご注意

フィラー天板にプッシュラッチを取り付けない場合、天板中央部の下穴は使用しません。
下穴加工面を上側にして固定してください。



2 フィラー天板の固定

樹脂金具の楕円に向かってバインドビスL=16でフィラー天板を固定してください。



天井付けしない場合

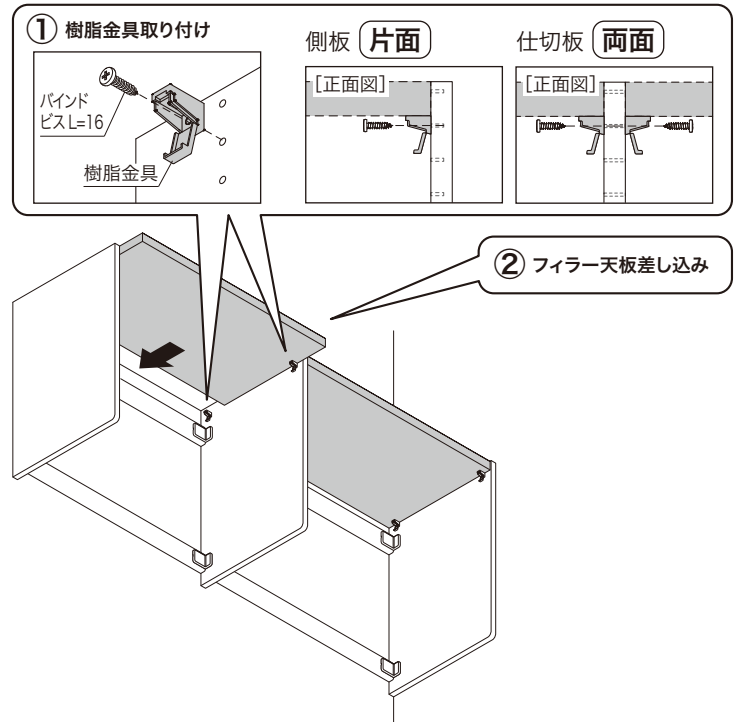
1 樹脂金具の取り付け、フィラー天板の差し込み

側板・仕切板の手前側・奥側、上から2番目のダボ穴へ樹脂金具をバインドビスL=16で固定してください。(右図①)

フィラー天板を奥まで差し込んでください。(右図②)

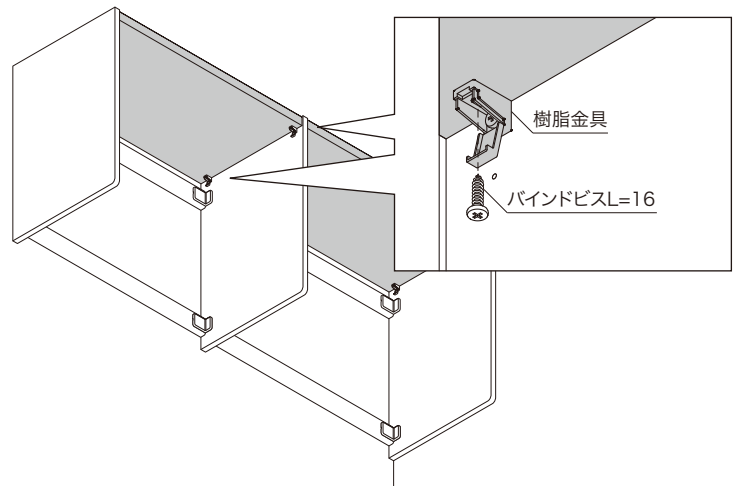
ご注意

フィラー天板にプッシュラッチを取り付けない場合、天板中央部の下穴は使用しません。
下穴加工面を上側にして固定してください。



2 フィラー天板の固定

樹脂金具の楕円に向かってバインドビスL=16でフィラー天板を固定してください。



6 配線孔キャップの取り付け(配線孔キャップを取り付ける場合のみ)

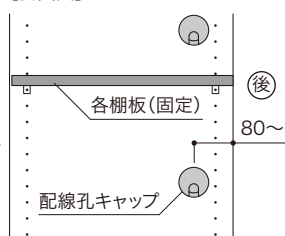
1 側板、仕切板、棚板、耐熱・耐汚棚 下穴加工

側板、仕切板、棚板、耐熱・耐汚棚の端から80mm以上開けた位置にφ48.5mmの下穴を開けてください。
(取り付け位置詳細は右図参照)

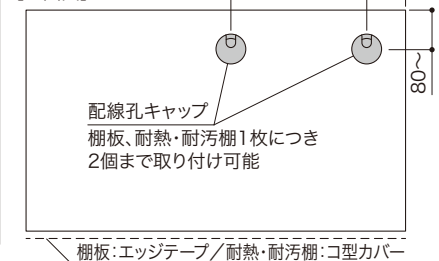
側板・仕切板に取り付ける場合

- 棚板などのパーツに干渉しない位置に取り付けてください。
- 配線孔キャップを2個以上取り付ける場合、間に各棚板(固定)またはスライドテーブルを設置してください。

■ 側板、仕切板
[側面図]

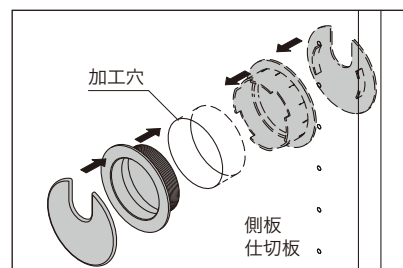


■ 棚板、耐熱・耐汚棚
[上面図]



2 配線孔キャップの取り付け

配線孔キャップを側板、仕切板、棚板、耐熱・耐汚棚の両側から挟み込み、取り付けます。



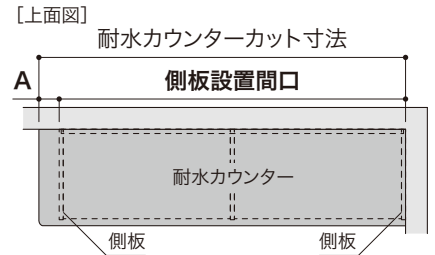
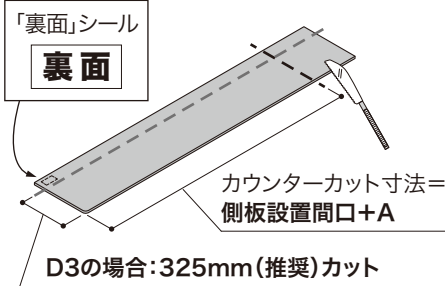
7 耐水カウンターの取り付け(下部収納のみ)

1 耐水カウンターのカット

設置プランを確認後、耐水カウンターをカットします。
(カウンターカット寸法: 右図参照)

ご注意

- Aは30~150mmまでに納めてください。
- 耐水カウンターには表裏があります。表面を上にして前側(R加工側)からカットしてください。

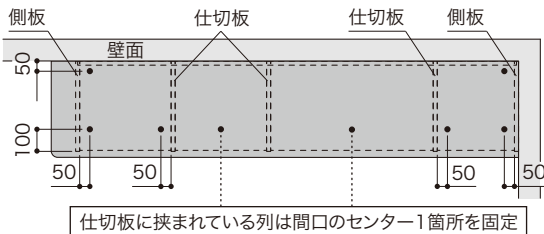


2 耐水カウンターの固定

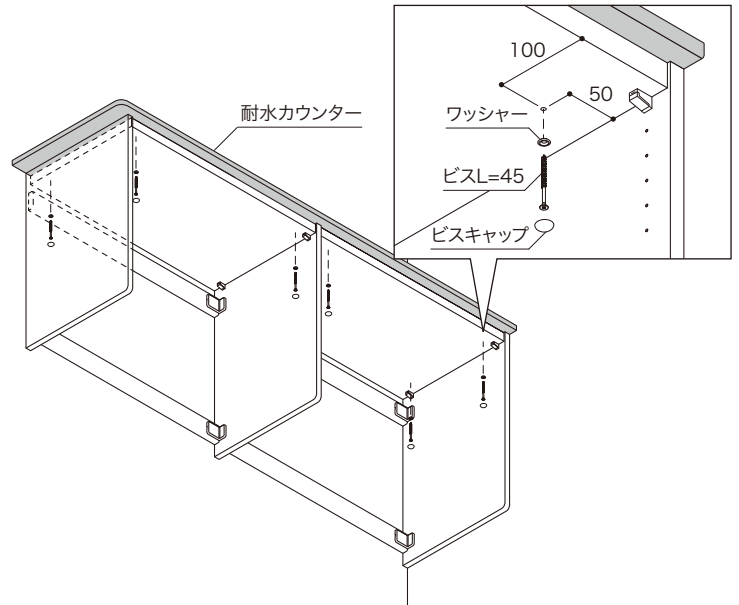
耐水カウンターをビスL=45(ビスキャップ付)で所定の位置(下穴なし)に固定します。

ビス固定推奨位置

[上面図]



● : ビスL=45 (ビスキャップ付)



耐水カウンターの下にユニットを設置せず、側板や壁から間隔をあける場合、
L字ブラケットセット※別手配 での固定が必要です。(下図○)

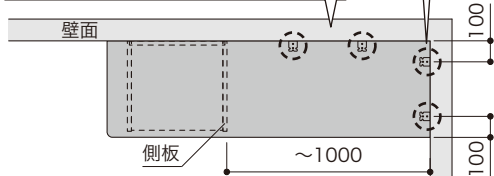
L字ブラケットセット※別手配 固定位置

■ 片側のみに側板がある場合は側壁・背壁に固定

側板⇔壁	取り付け位置
~599の場合	中央に1箇所
600~1000の場合	等間隔に2箇所

前後100mmの位置に2箇所

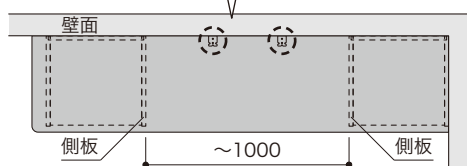
[上面図]



■ 両側に側板がある場合は、背壁のみに固定

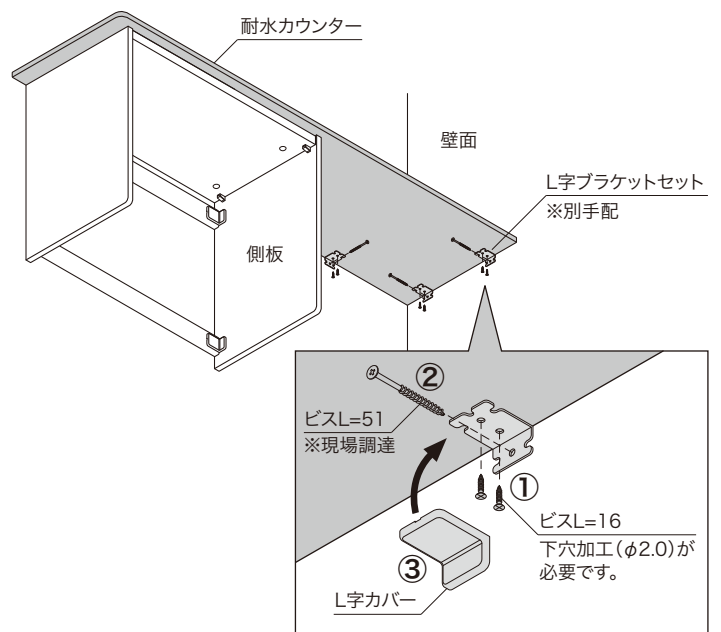
側板⇔側板	取り付け位置
~599の場合	中央に1箇所
600~1000の場合	等間隔に2箇所

[上面図]



ご注意

側板⇔壁または側板⇔側板間は、1000mm以内に納めてください。

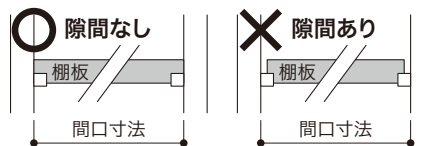


9 各棚板(可動)の取り付け

躯体や側板・仕切板と背壁桟木の垂直・直角がとれていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。

カットする場合(棚板のみ)

間口寸法と同寸法に棚板をカットします。



注意

●必ずエッジテープ側からカットしてください。

反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。



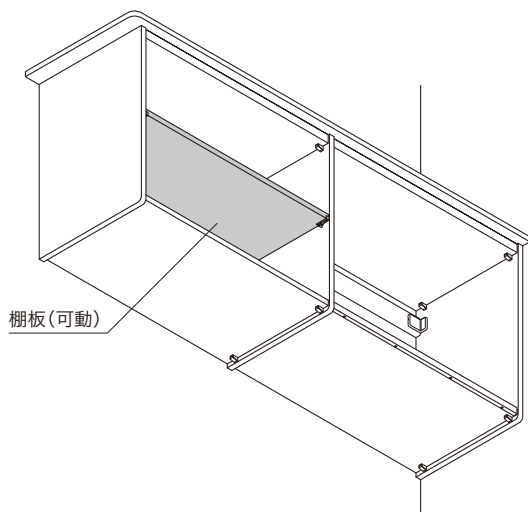
●網棚はカットできません。

可動棚受をダボ穴に奥までしっかり差し込み、各棚板をのせてください。
※可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時
ご注意ください。

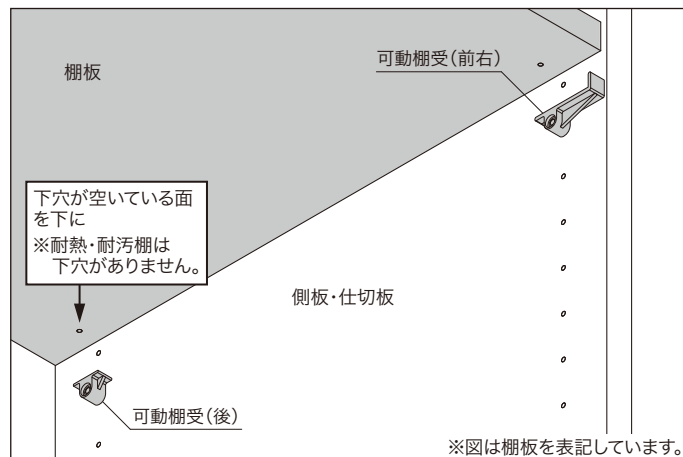
注意

- 網棚は金属部分で側板・仕切板にキズをつけないよう
ご注意ください。
- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確
認ください。

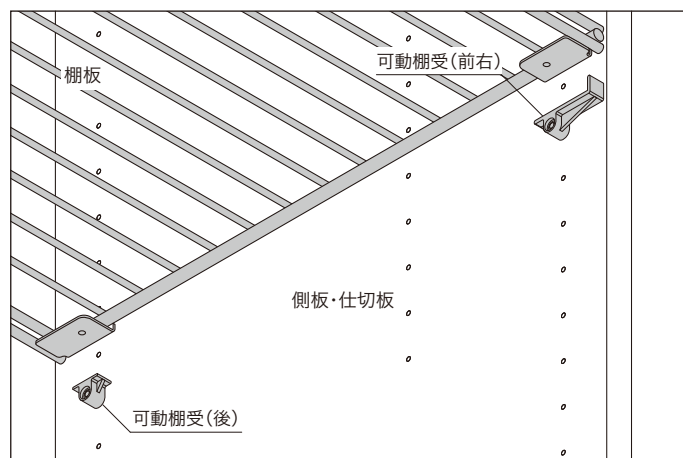
可動棚受取付位置・・・前後2カ所×左右



棚板、耐熱・耐汚棚の場合



網棚の場合



10 バスケットの取り付け

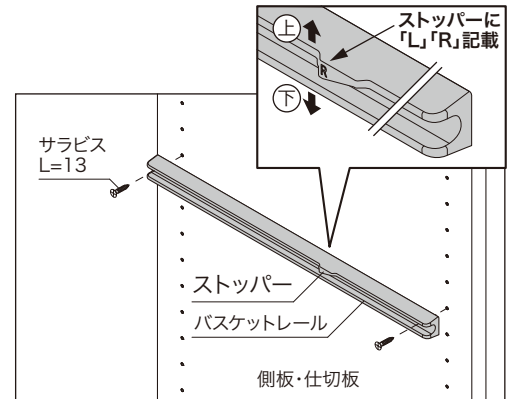
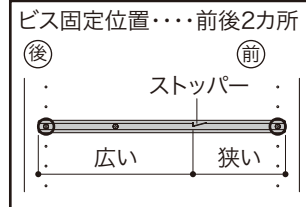
取り付け位置詳細 : 20ページ

1 バスケットレールの取り付け

側板・仕切板へサラビスL=13を使って図のように固定してください。
レールの上下間隔は、ダボ穴5個以上あけて取り付けてください。

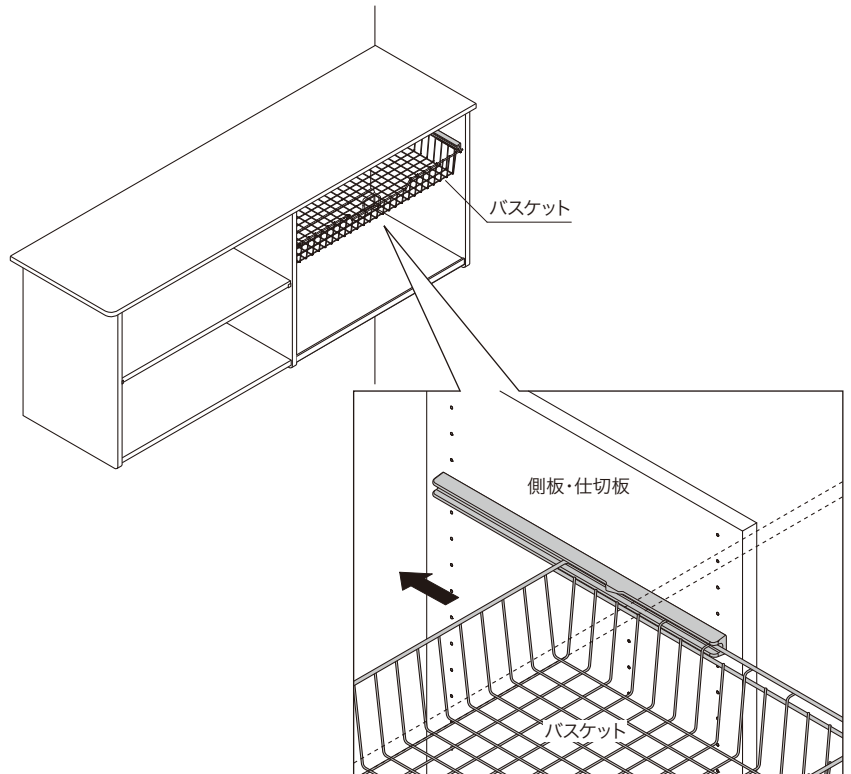
ご注意

- バスケットレールには左用・右用があります。間違いのないように注意してください。
- ビスを強く締めすぎないようにしてください。バスケットレールが破損するおそれがあります。



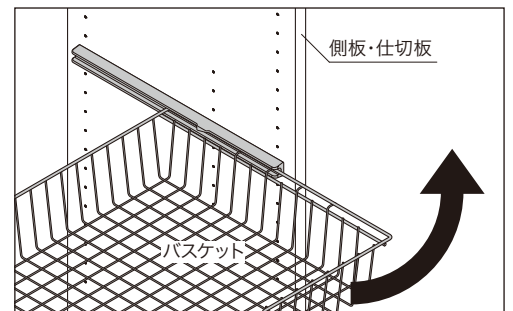
2 バスケットの差し込み

バスケットレールにバスケットを差し込んでください。



バスケットの取り外し

バスケットの手前を持ち上げながら取り外してください。



11 キッチン収納用引出しの取り付け

取り付け位置詳細: 20ページ

1 スペーサー(左・右)の取り付け

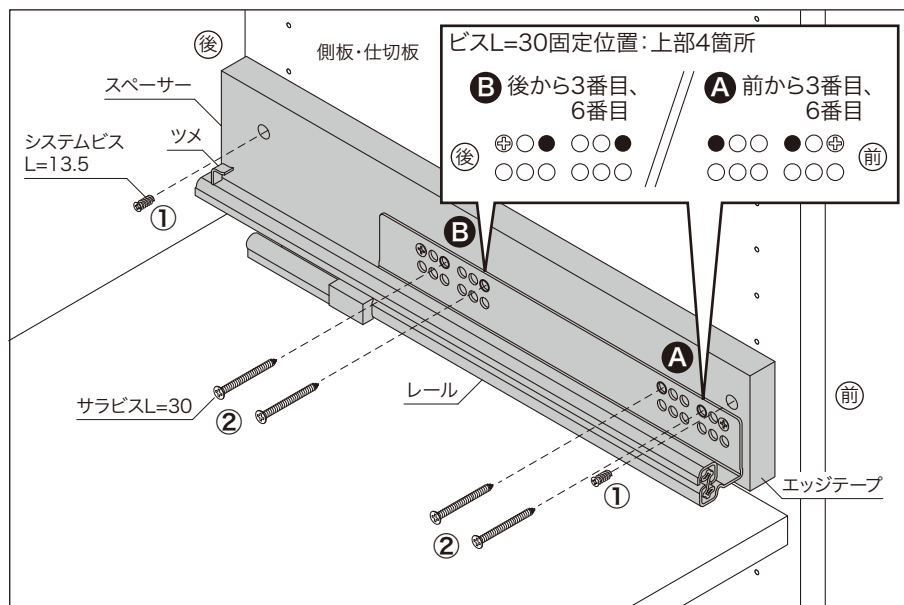
スペーサー(左・右)を側板・仕切板にシステムビス L=13.5で固定します。(右図 ①)

ビス固定位置: 2箇所

ご注意

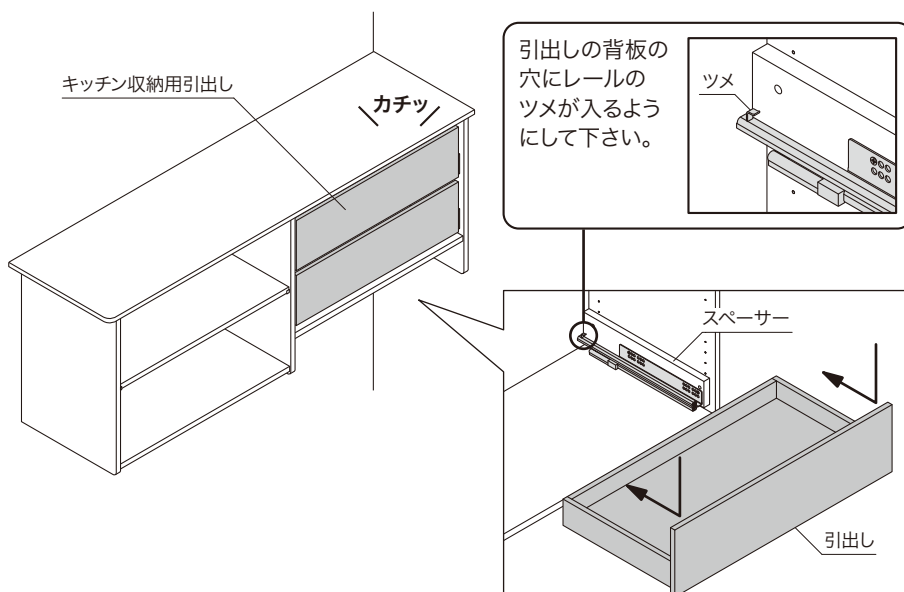
スペーサーは右用・左用があります。間違いのないように注意してください。エッジテープを貼っている面が手前になります。

その後、レールの指定穴位置(右図参照)からスペーサーと側板・仕切板に向かってサラビスL=30で固定します。(右図 ②)



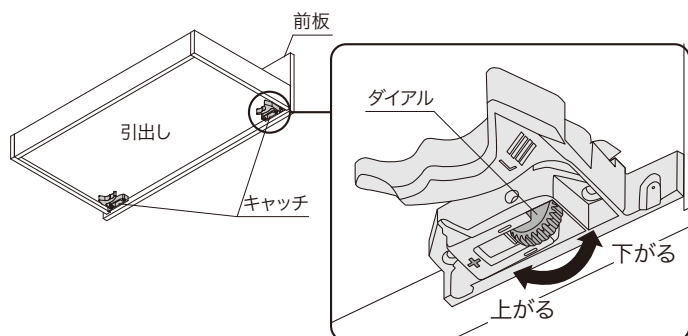
2 引出しの取り付け

レールの上に引出しをのせて、カチッと音がするまで奥に押し込みます。



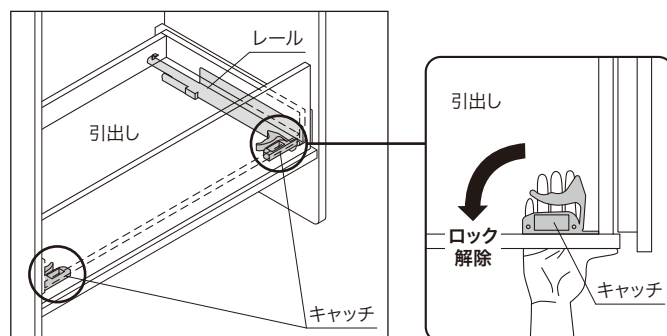
前板の高さ調整方法

引出しを軽く持ち上げながらダイヤルを+方向に回します。(+2mm調整可能)



引出しの取り外し

引出しの裏に取り付いているキャッチ(左右)のレバーを矢印の方向に引いて、レールと引出しのロックを解除し、取り外してください。



12 スライドテーブルの取り付け

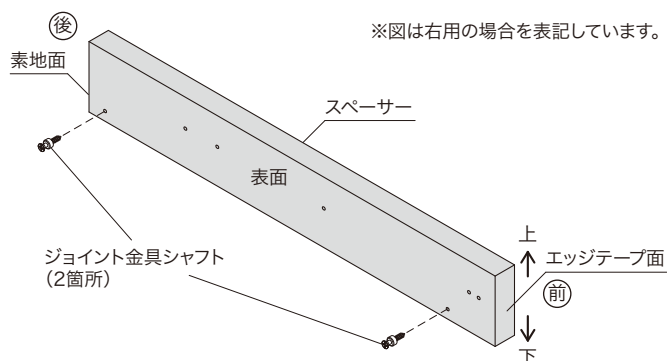
取り付け位置詳細: 20ページ

1 ジョイント金具シャフトの取り付け

スペーサーの裏・表を確認し、表面下側の半貫通穴へジョイント金具シャフトを取り付けてください。

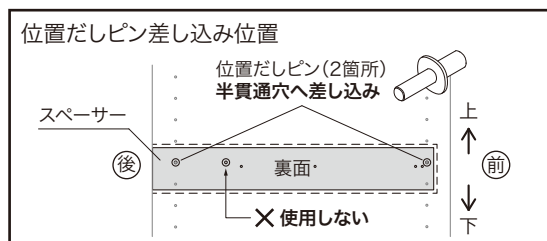
ご注意

スペーサーは右用・左用があります。間違いのないように注意してください。エッジテープを貼っている面が手前になります。



2 スペーサーの取り付け

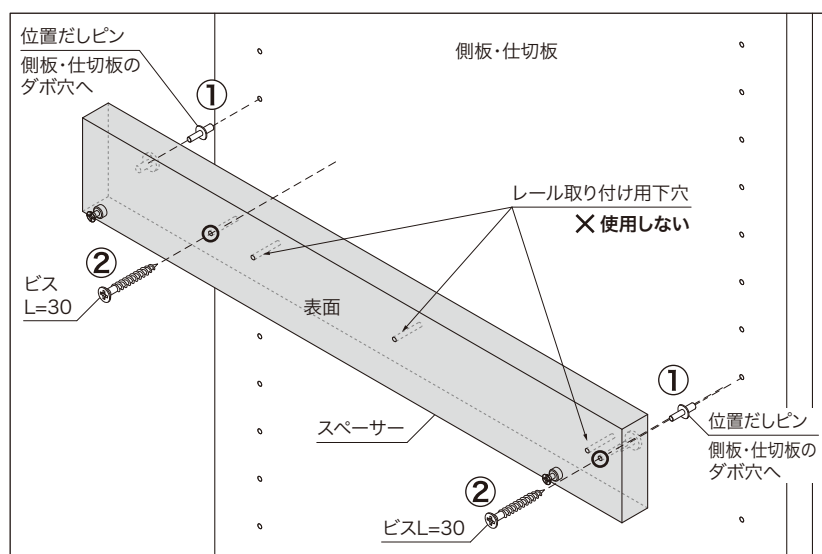
位置だしピンを図のように差し込み、スペーサーの位置を出します。(右図①)



その後、スペーサー表面の貫通穴からビスL=30で固定します。(右図②)

ご注意

ビスL=30がスペーサーと面一になるように固定してください。○ × ×

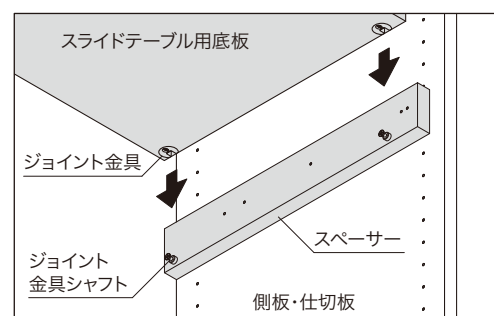
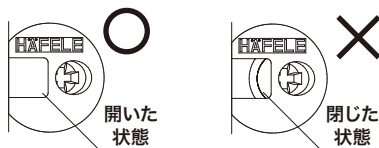


3 スライドテーブル用底板の取り付け

スライドテーブル用底板のジョイント金具をジョイント金具シャフトに上側からはめ込みます。

ご注意

ジョイント金具シャフトをはめ込む際は、スライドテーブル用底板のジョイント金具が開いた状態であることを確認してから取り付けてください。

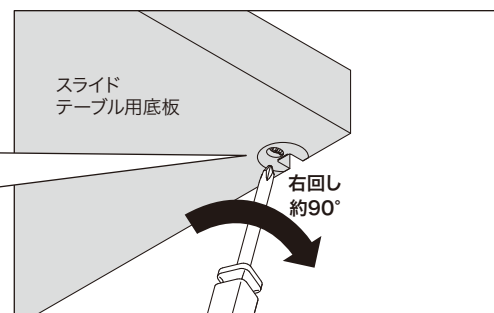
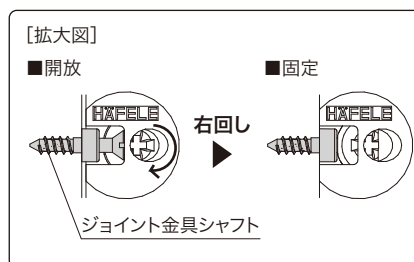


4 スライドテーブル用底板の固定

ジョイント金具をドライバー右回しで締め、固定してください。

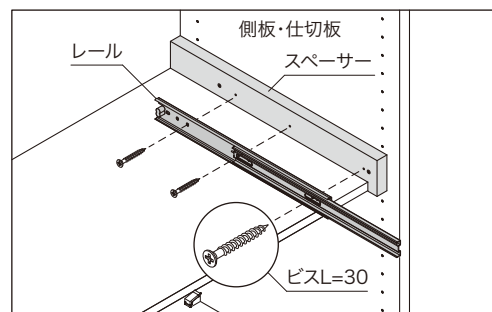
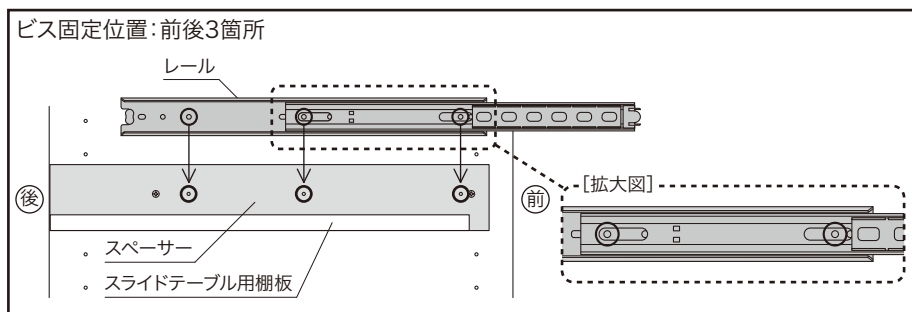
ご注意

ドライバーは、ななめに差し込んでください。ジョイント金具が破損するおそれがあります。



5 レールの取り付け

スペーサーの半貫通穴へレールを取り付けてください。

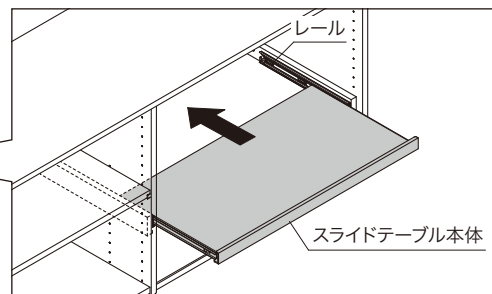
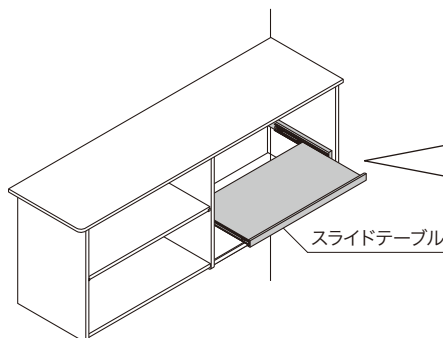


6 スライドテーブル本体の取り付け

レールを引き出してスライドテーブル本体を取り付けてください。

ご注意

スライドテーブルを無理に押し込まないでください。
破損のおそれがあります。

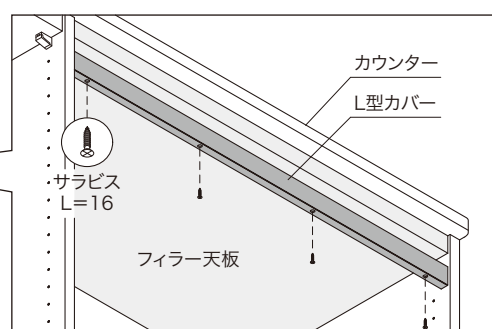
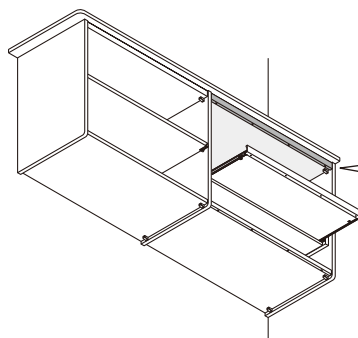


7 L型カバーの取り付け

スライドテーブルの上側のフィラー天板へL型カバーをサラビスL=16で取り付けてください。

ご注意

L型カバーの両端は切りっぱなしのため、挿入の際は側板・仕切板を傷つけないよう、ご注意ください。



13 開戸の取り付け・調整方法

取り付け位置詳細: 21,22ページ

ご注意

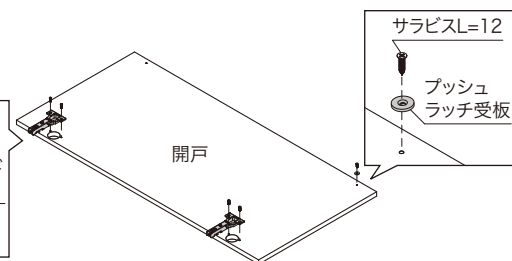
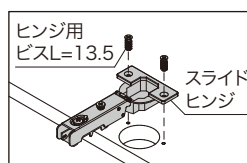
- プッシュラッチを側板・仕切板へ取り付ける場合は、耐熱・耐汚棚(固定)、網棚(固定)も開戸の上下に設置できます。
- 開戸は左右共通品です。上下反転させて使用します。

1 スライドヒンジ・プッシュラッチ受板の取り付け

開戸のそれぞれの下穴にスライドヒンジをヒンジ用ビスL=13.5、プッシュラッチ受板をサラビスL=12で取り付けます。

ご注意

電動式ドライバー使用禁止



2 座金の取り付け

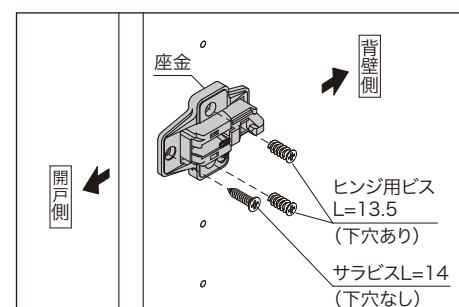
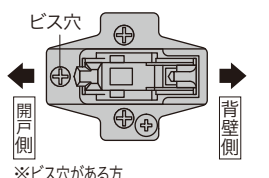
側板・仕切板のダボ穴に座金をヒンジ用ビスL=13.5、サラビスL=14で取り付けます。

ご注意

- 座金の取り付け方向(右図参照)を必ずご確認ください。逆に付けると開戸を付けることができませんのでご注意ください。

● 電動式ドライバー使用禁止

※ヒンジ用ビスL=13.5のみ

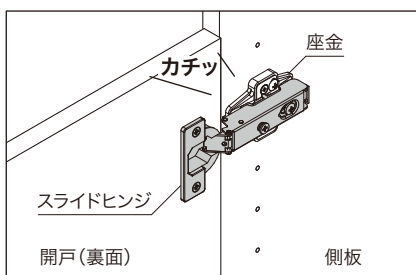


施工手順 下地固定・間柱固定 共通

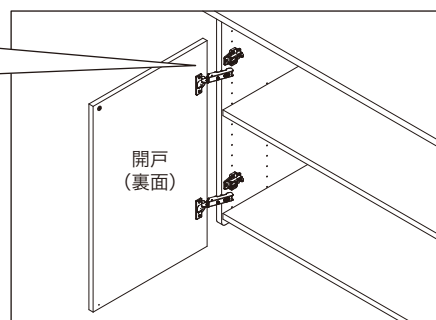
寸法単位:mm

3 開戸の取り付け

開戸に取り付けたスライドヒンジを側板・仕切板に取り付けた座金にはめ込みます。



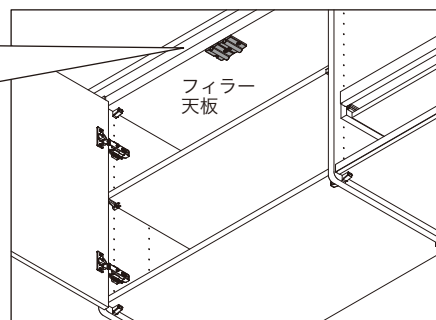
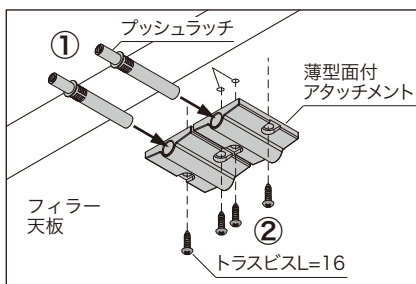
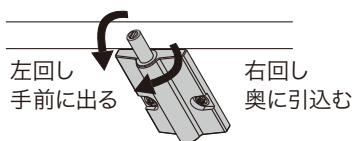
正しくはめ込むとカチッと音がします。



4 プッシュラッチの取り付け

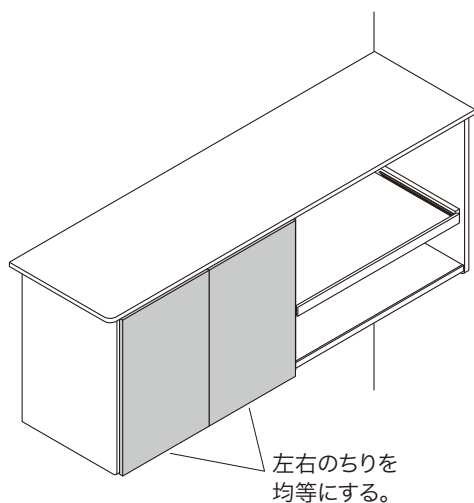
プッシュラッチ取り付け後の薄型面付アタッチメントをトラスビスL=16でフィラー天板に固定します。

取り付け後、開戸の前面が合うように、プッシュラッチの寸法を調整してください。



5 開戸の調整

開戸を取り付け後、開戸と本体側板のちりが均等になるように、調整を行います。



ご注意

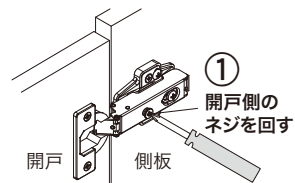
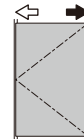
開戸の調整後必ず2〜3回開閉し、確実に取り付いていることをご確認ください。

開戸の左右の位置を調節 (吊元: 左側の場合)

①のネジを左右に回して開戸の左右の位置を調整してください。

吊元	ネジ①	開戸
左側	右回し ➡	右に動く
	左回し ⇐	左に動く
右側	右回し ➡	左に動く
	左回し ⇐	右に動く

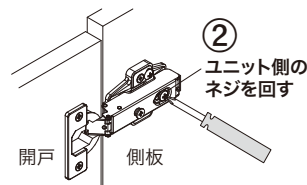
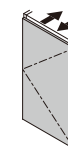
ネジ①
左回し 右回し



※吊元: 右側の場合は左表を参照ください。

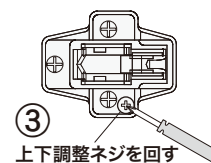
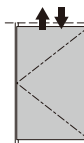
開戸とユニットの間隙を調節

②のネジをゆるめ開戸を前後に動かして調節し、適正な位置で締め直して固定してください。



開戸の上下を調節

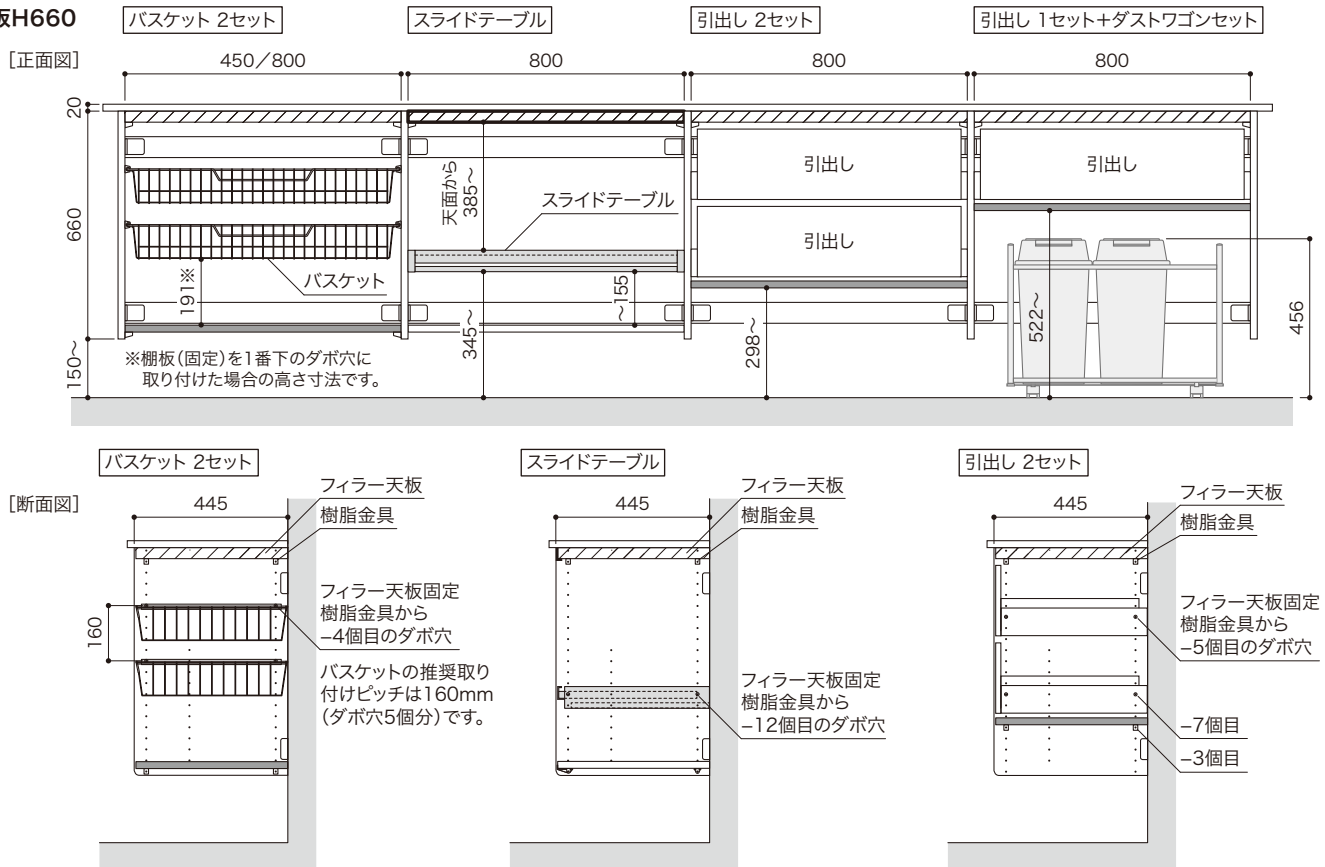
座金にある③のネジをゆるめ開戸を上下に動かして調節し適正な位置で締め直して固定してください。



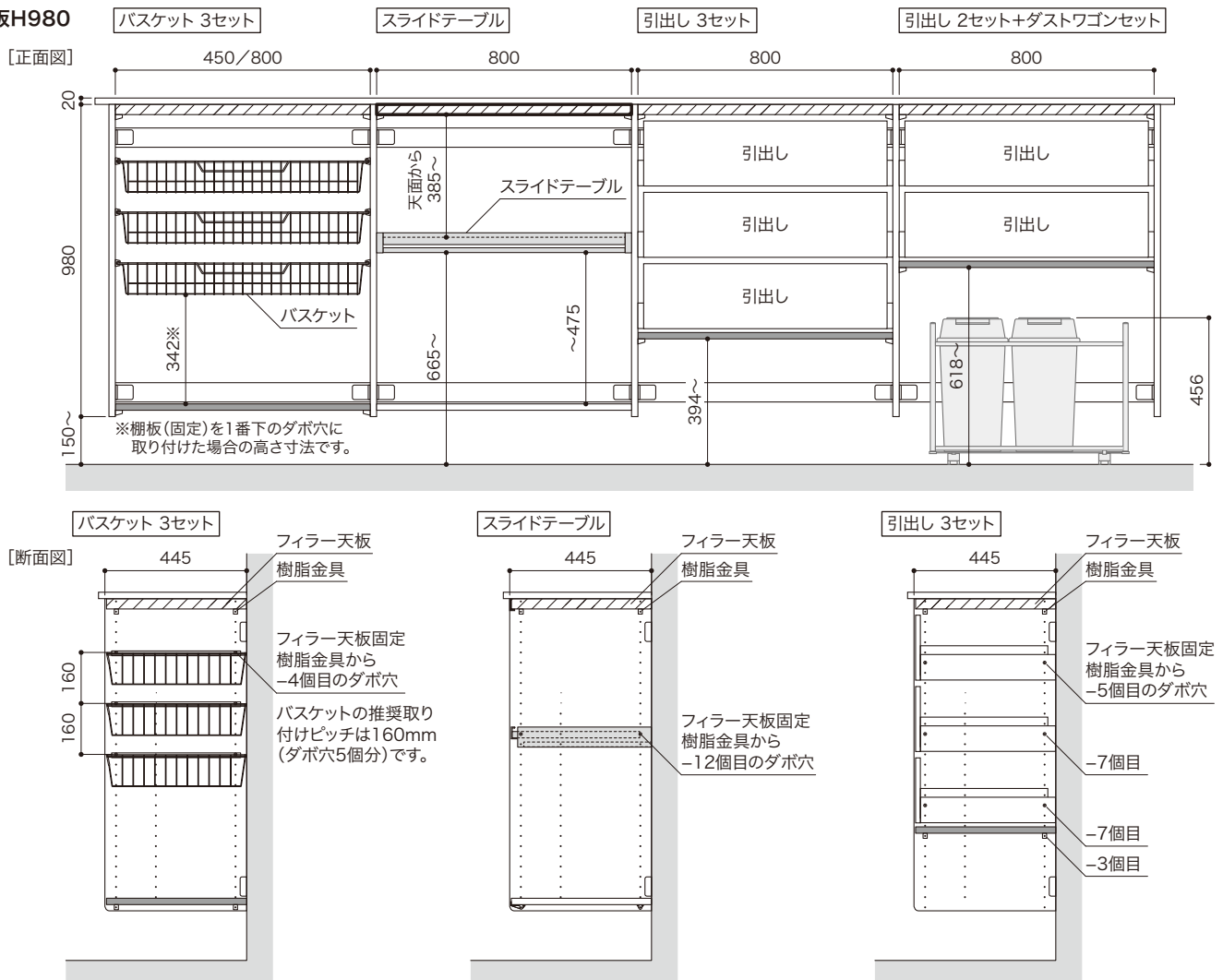
設置位置イメージ図

寸法単位: mm

■ 側板H660



■ 側板H980



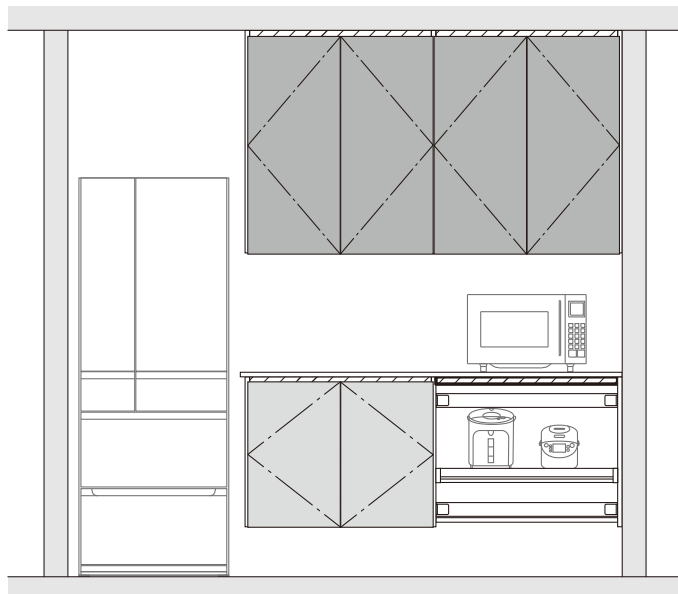
※各棚板=棚板/耐熱・耐汚棚/網棚の3種類があります。

設置位置イメージ図

寸法単位:mm

[樹脂金具・プッシュラッチ・座金の取り付け位置]

- 開戸を設置しないプランの場合、各棚板(固定)は任意の位置に取り付けてください。
- 本体の取り付け高さや開戸のサイズにより、プッシュラッチを取り付けるパーツや位置が異なります。



上部収納の場合

下部収納の場合

ご注意

プッシュラッチは耐熱・耐汚棚、網棚には取り付けできません。

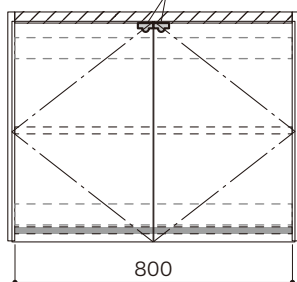
下部収納の場合

※下図は [D4] を記載していますが、[D3] の場合も同様です。

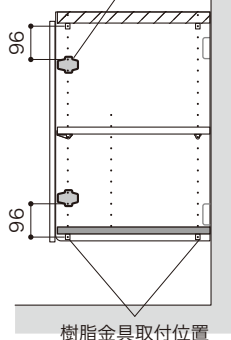
■ 側板H660

側板H660+開戸H636

[正面図] プッシュラッチ取付位置



[断面図] 座金取付位置

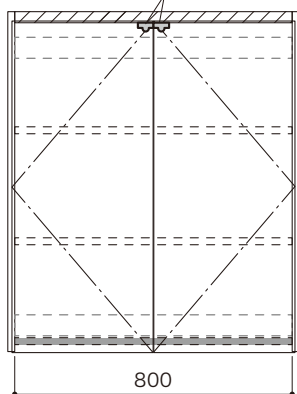


樹脂金具取付位置

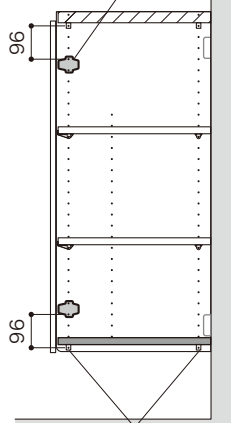
■ 側板H980

側板H980+開戸H956

[正面図] プッシュラッチ取付位置



[断面図] 座金取付位置



樹脂金具取付位置

設置位置イメージ図

寸法単位:mm

[樹脂金具・プッシュラッチ・座金の取り付け位置]

上部収納の場合

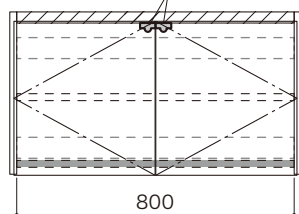
※下図は [D4] を記載していますが、[D3] の場合も同様です。

■ 側板H468

側板H468+開戸H444

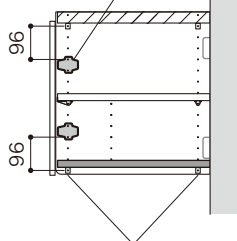
[正面図]

プッシュラッチ取付位置



[断面図]

座金取付位置



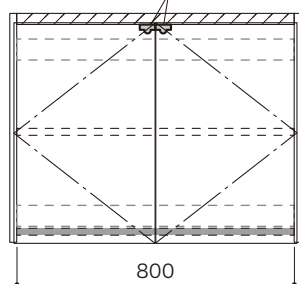
樹脂金具取付位置

■ 側板H660

側板H660+開戸H636

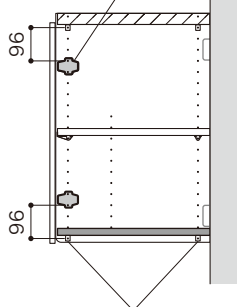
[正面図]

プッシュラッチ取付位置



[断面図]

座金取付位置

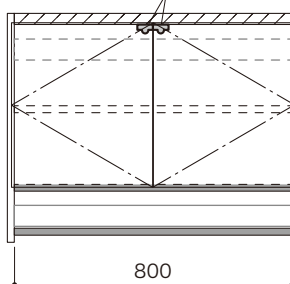


樹脂金具取付位置

側板H660+開戸H444

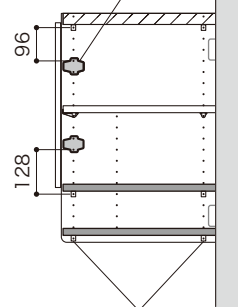
[正面図]

プッシュラッチ取付位置



[断面図]

座金取付位置



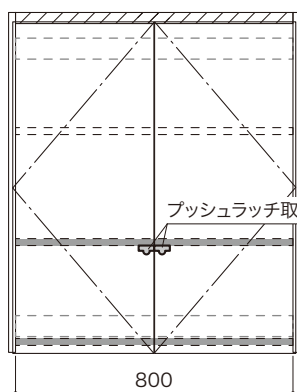
樹脂金具取付位置

■ 側板H980

側板H980+開戸H956

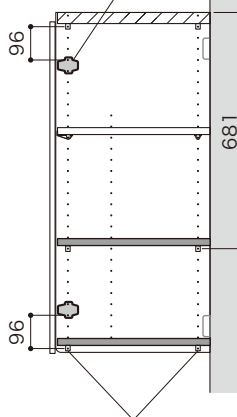
[正面図]

プッシュラッチ取付位置



[断面図]

座金取付位置

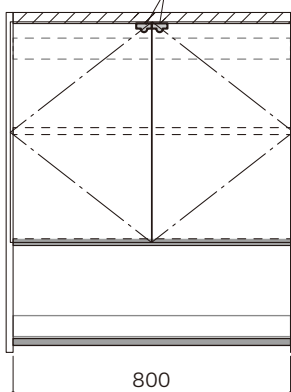


樹脂金具取付位置

側板H980+開戸H636

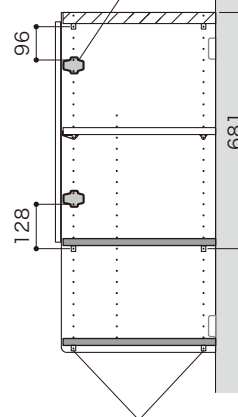
[正面図]

プッシュラッチ取付位置



[断面図]

座金取付位置



樹脂金具取付位置

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級表示

製品名:シェフモ

製造者:南海プライウッド(株)

発散区分:F☆☆☆☆

住宅部品表示ガイドラインによる

ロット番号:製品梱包に記載

-構成材料-

内装仕上部分	
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

下地部分	
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

○構成材料

部材・部位	材料名	表示区分	認定・ 登録種類	認定・ 登録番号	認定登録機関
開戸	MDF化粧板	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-001484	(一社)日本建材・住宅設備産業協会
耐熱・耐汚棚	金属調化粧ランバー	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-002821	(一社)日本建材・住宅設備産業協会
スライドテーブル					
耐水カウンター	塗装集成材	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-002751	(一社)日本建材・住宅設備産業協会

ご注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先:品質管理チーム 087-894-8025



南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業
グループ 首都圏 第1チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645
首都圏 第2チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645

西日本営業
グループ 近畿営業チーム TEL(087)825-3623 FAX(087)825-3647
中四国営業チーム TEL(087)825-3624 FAX(087)825-3648
九州営業チーム TEL(087)825-3625 FAX(087)825-3649

東日本営業
グループ 北海道・東北営業チーム TEL(087)825-3632 FAX(087)825-3695
関東甲信越営業チーム TEL(087)806-3660 FAX(087)825-3645
中部営業チーム TEL(087)825-3622 FAX(087)825-3646

特需営業
グループ 特需 第1チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669
特需 第2チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669